



フィギュアスケート 成年男子の大健闘！ 成年女子は好発進！

フィギュア 成年男子 今後の飛躍に向け大きな収穫

ショートプログラム（SP）20位の早川晃太郎選手（国際医療福祉大学）は、持ち味である豊かな表現力と華麗なスピンを武器に最後まで落ち着いた演技を披露。フリースケーティング（FS）を22位で終え、個人総合22位（108.33点）となった。

また、SP11位の古家龍磨選手（九州工業大学）は、国体少年種別の本県代表（過去4回出場）として活躍してきた選手。大会前に腰を痛め、大会当日も痛みが残る中での演技であったが、力強いジャンプと曲想に合った滑りで最後まで奮闘し、FSを19位で終え、個人総合17位（126.43点）の結果となった。

今回が初めての国体出場となった早川選手は「SP・FSともに転倒したことが点数に響いた。結果を残せなかったところが反省」と振り返った。古家選手は「自分のコンディションを上手く調整できなかった。それでも最後まで諦めずスピンで点数を取りに行けた部分はよかった。今後は怪我をしない体づくりや新しいジャンプに取り組みたい」と、来年度に向けた目標を語ってくれた。

結果として、本県成年男子の都道府県別成績は11位であったが、今大会での収穫は大きかったに違いない。今後の両選手の活躍に期待したい。



早川晃太郎選手、古家龍磨選手

フィギュア 成年女子 栃木で竹野姉妹旋風を巻き起こす！

竹野比奈選手（福岡大学大学院）は、冒頭で3回転ジャンプを連続で成功させると、さらに演技の勢いが増し、ステップやターンでは大会出場者の中で唯一、ジャッジ全員から最高評価を獲得。また、完成度の高いスピンの高評価も加わり、本人も満足いく最高の演技でSP1位となり、幸先のよい滑り出しとなった。

そして、妹の竹野仁奈選手（筑紫女学園大学）は、3回転ジャンプが回転不足と判定され加点につながらなかったものの、ジャンプの完成度の高さ、曲想に合ったプログラムと持ち前のスケートスキルでカバーしSP8位と好位置をキープ。

27日（木）のFSも、竹野姉妹は持ち前の高い技術力・表現力で会場を賑わせてくれるに違いない。



竹野比奈選手、竹野仁奈選手



福留富枝 総監督

【福岡県選手団 福留富枝 総監督のコメント】
 ショートトラックリレーでの成年男子の優勝、成年女子の2位や、フィギュアスケート少年女子3位など良い結果を残せていることが非常に嬉しい。
 フィギュアスケートは、優秀な振付師を招聘し、プログラムの演技構成を考えた。その成果が今回の結果に結びついたものと考えている。明日のフィギュアスケート成年女子のFSと初戦となるアイスホッケー少年男子にも期待したい。

スケート競技会総合成績（1月26日現在） ※フィギュア 成年女子の得点除く

順位	都道府県名	得点
1	長野県	118
2	愛知県	96
3	兵庫県	93
4	福岡県	87
5	大阪府	65
6	東京都	64
7	神奈川県	64
8	栃木県	59